

総合的な学習の時間学習指導案

指導者 山住 綾

- 1 日時 令和2年 2月 4日(火) 5校時
- 2 学年 第4学年 10名
- 3 単元名 大崎上島の海のよさを伝えよう
- 4 単元について

(1) 単元観

ここ大崎上島は、四方を海で囲まれたおだやかで自然豊かな離島である。産業や観光面において海との関わりが深い町である。地域には昔から続く産業として造船業がある。最近では、豊かな自然を生かした栽培漁業や養殖業（広島サーモンや車エビ、生牡蠣）にも力を入れており、大崎上島を代表するブランドの一つとなってきた。大崎上島の海には、スナメリが生息しやすい藻場がある。スナメリだけではなく、多くの生き物が豊かに育っている。

児童はこれまで3年間「大崎上島学」（生活科・総合的な学習の時間）を通して、ふるさと大崎上島の産業や自然、地域について学習し、様々な体験を行ってきた。4年生になってからは海の生き物の観察を行ってきた。初めは、「大崎上島学」で島内の4年生全員で海浜生物の調査を行った。次に、一般財団法人Zegonの方々に協力をいただきスナメリ観察を行い、スナメリについての知識を学ぶことができた。島内の海の環境を比較するため「大崎上島学」で調査した海岸とは違う海岸でも調べ学習をおこなってきた。活動を通して子供たちは、新しい発見や新たな課題を見つけながら活動することができている。

この「大崎上島のよさを伝えよう」という単元を扱い、これまでに自分たちが調べた内容を他者に発信活動を通して、情報の整理の仕方や話し合い活動をより深いものにできると考える。また、他者への発信がゴールになるため、相手意識をもって報告内容を考えてことができる。なにより、自分たちの故郷である大崎上島のことについてより理解を深める活動となると考えられる。この単元から、大崎上島の海についてより深く学ぶことができれば、ふるさとに対する愛着をもつと共に、海に関わり守る活動をしている地域の方とつながりを深め、自分も地域の一員として主体的に関わろうとする児童の育成につながるものと考え本単元を設定した。

(2) 児童観

本学級の児童は、海の生き物について調べることに意欲的な児童が多い。また、「大崎上島のことが好きですか。」というアンケートに肯定的に答えている。そして、もっともっと大崎上島について知っていきたいと考えている児童が多い。

1学期には、「大崎上島学『大串海岸の海の生き物探検』」で島の西に位置する大串海岸の海の生き物の実態調査を行い、昨年度の4年生が作製したラミネート集を基に、どのような生き物がいるのか調査を行った。これまで、海の生き物を見たことがあるが、詳しく調べることは初めてだったため、活動を楽しむ児童が多かった。児童は、この活動後、大

崎上島の他の海岸ではどんな様子なのかに興味を示した。そこで、島の東に位置する野賀海岸の調査を行った。島内の海岸の比較を行うことで、潮の流れや岩場の環境によって生き物の種類や個体差があることを学ぶことができた。また、この調査の時に海岸に打ち上げられたゴミに関心を持ち、調査範囲を広げていった。調査を行う際には、地域の方に船で島まで連れて行ってもらったり、専門家の方に指導を受けたりしながら学びを深めることができている。調査を進めることで、より大崎上島への愛着をもちつつある。

(3) 指導観

指導に当たっては、単元全体を通して地域の自然と触れ合う体験活動を行ってきたことを中心に活動を進めていく。これまでも進めてきた、課題発見・解決学習に取り組ませると共に、児童が主体的に学びを進めていけるような展開の工夫を行っていく。その際、目的や内容などを明確にし、それらを意識して情報を整理できるようにする。

本時においては、これまで学習してきたことを振り返り、その内容を、誰に、何を、どのような場で、どのように伝えるのかをしっかりと話し合わせたい。その際、相手意識をもって伝える内容の整理を児童自ら進んで行えるような場を設定していく。

単元のゴールとする他者への発信では、国語科で学んだ新聞やチラシ、ポスターなどの広告の工夫を参考にし、リーフレットを作り、自分たちの学びを発表する形にしていく。活動グループごとに発表する内容を決めさせたり、表現の仕方を工夫させたりすることで、豊かな表現力の育成につなげていきたい。

【郷土を担う使命感】

自分たちをこれまでサポートしてくださった方々の気持ちを考え、より多くの人に自分たちの故郷のよさを伝えていこうとする思いをもつことができる。

【豊かな表現力について】

誰に発信するのか明確にし、相手意識をもち、効果的な方法で表現することができる。

【創造力について】

話し合い活動や、作業を通して他者と協働する活動の場を設定し、大崎上島の海の現状（良さ・課題）紹介のために、よりよいアイデアを出して、修正・補足することができる。

5 単元の目標

- 大崎上島のよさに興味・関心を持ち、これまでの活動を振り返ることができる。
- 適切な方法で情報を収集・整理し、内容を効果的にまとめ発表することができる。
- 大崎上島の海を調べる活動を通して地域に触れ、ふるさと大崎上島に対する誇りと愛着をもち、自分にできることを考え実践しようとする態度を育てる。

6 単元の評価規準

	知識・スキル	価値観・倫理観	意欲・態度
評価規準	<p>知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 大崎上島の海の生き物について調べ、生息する環境によって個体差があることが分かる。 現在の海岸や海におけるゴミ問題について理解することができる。 <p>豊かな表現力</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要な情報を収集し、分類・比較しながら整理し、表現することができる。 相手意識を持って表現を工夫することができる。 	<p>回復力・耐える力</p> <ul style="list-style-type: none"> 複数の事柄や資料などの情報を整理し、友だちと協働して課題を解決することができる。 <p>創造力</p> <ul style="list-style-type: none"> 他者に情報を発信するための手立てを主体的に考えることができる。 大崎上島のよさを伝えるための効果的な方法を考えることができる。 	<p>郷土を担う使命感</p> <ul style="list-style-type: none"> これまで自分たちの活動をサポートしてくださった方とのつながりを大切にし、自分ができることを考え、次の世代につなげようと思えることができる。 <p>自らへの自信</p> <ul style="list-style-type: none"> 「大崎上島の海のよさを伝える」という活動を通して、自分や友だちの良さ、成長を自覚することができる。

7 本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

○学校教育目標 「自分を大切に 他人を大切に ふるさとを大切に
する東野っ子の育成」
～自分が好き 友だちが好き 学校が好き ふるさとが好き～

○求める児童像

知識 ・ スキル	知識		<ul style="list-style-type: none"> 大崎上島にある自然・歴史・伝統文化・地域の産業・暮らしを学び、大崎上島のことを深く知ることができる。
	豊かな表現力	◎	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いや考えを、効果的な資料を使って整理し、書き表すことができる。 相手意識や目的意識を持って、効果的な表現方法を用いて、分かりやすく表現することができる。 自分と異なる他者の考えを受け入れ、意見を集約したり、広げたりすることができる。
価値観 ・ 倫理観	回復力・耐える力		<ul style="list-style-type: none"> 身近な人や、地域の専門家から学び、協働して課題を解決することができる。 困難な状況でも粘り強く取り組み、最後までやりきることができる。
	創造力	◎	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動や生活体験から課題を設定し、解決の見通しを立てて取り組むことができる。 課題設定に向けて、専門家や家庭、地域の人から話を聞き、必要な情報を収集することができる。 他者と協働しながら、より良い知恵を出したり、修正・補足したりしながら物事を創造することができる。
意欲 ・ 態度	郷土を担う使命感	◎	<ul style="list-style-type: none"> 大崎上島に魅力を感じ、ふるさとに誇りと愛着をもつことができる。 これからの大崎上島や将来の自分のためにできることは何かを考え、行動することができる。
	自らへの自信		<ul style="list-style-type: none"> 地域の良さや、郷土の産業、文化等を受け継ぐ方の思いを知り、大崎上島の将来を担うという志を持つことができる。

8 指導計画 (全70時間)

月	学習内容	時数	教科との関連	評価基準 (B) 【評価方法】
4	課題の設定・情報の収集・整理分析・まとめ・表現	20	理科 【季節の生き物】 国語 【みんなで新聞を書く】	海辺の生き物の様子について興味・関心を持っている。 【発言・行動観察・成果物】
7	○大崎上島の海に探検に行き、海の生き物について調査し、まとめる。 ・大崎上島の海の観察・調査を行う。			
9	①課題の再設定	6	国語 【案内係になろう】 理科 【季節の生き物】	海の生き物や環境の変化を探るために、どのような手順で、どんな情報を集めたらよいか考え、主体的に計画を立てている。 【発言・態度】
	○大崎上島の海の生き物調査について振り返り、自分の思いや友だちの考えを伝え聞き合い、故郷の海についての自分たちの思いを話し合う。 ・大崎上島の他の海岸の様子はどうなっているのだろうか。 ・大崎上島の海は本当にきれいなのだろうか。 ・もっと大崎上島の海について知りたい。 ・どうやって情報を集めたらいいのだろうか。			
	②情報の収集・整理分析	6	理科 【この物つくりと調】 国語 【私の考えたこと】	専門家の方から話を聞くことにより、海を守ろうとする思いや努力や地域のよさに気付くことができる。 【行動観察】
	○大崎上島の海について、情報収集する内容や方法を考える。 ・他の海岸調査を行う。 ・海岸のゴミについて調査を行う。 ・視点を明確にして調査をする。 ・スナメリの調査を再度行う。			
		4	国語 【クラスで話し合おう】	
	○これまでの活動について振り返り、自分の思いや友だちの考えを伝え聞き合い、故郷の海を守るために自分たちができていることを話し合う。			
10	④まとめ・表現	8	図工 【忘れられないあの時】 国語 【クラスで話し合おう】	他者と協働し、大崎上島の海を守るためによりよいアイデアを出し合うことができる。 【行動観察】
	○海の生き物のパネルを作る。 ○改善策を実行するために、情報を集める。 ○調べて分かったこと・考えたことをみんなに伝えられるように準備をする。			
11	⑤実行	2	国語 【私の考えたこと】	集めた情報を、相手意識を持ち、分かりやすく伝わるような表現の工夫をしている。 【発言・態度】
	○計画した活動を実行する。 ※学習発表会で、お家の人や地域の方に自分たちの活動を紹介し、環境保全について呼びかける。			
12	⑥まとめ・振り返り	4	国語 【クラスで話し合おう】 理科 【季節の生き物】	他者からのアドバイスを生かして、よりよい方法を主体的に考えることができる。【発言・態度】
	○これまでの学習を振り返り、「大崎上島学」のK授業で大崎上島の海について発表する。 ・学んだことや気付いたこと			
1	⑦課題の設定	4	国語 【クラスで話し合おう】	課題解決に向けて、最後まで粘り強く取り組むことができる。 【行動観察・振り返り記述】
	○これまでの活動を振り返るとともに、地域へ発信する内容を話し合う。(本時)			
2	・これまで自分たちが調べたことをもう一度整理しよう。 ・何を一番に伝えるか考えよう。 ・どんな方法で伝えるか考えよう。	10	国語 【自分の考えを伝えよう】	故郷の海を守るために、自分たちにできることを考え、自らの生活を見直している。 【振り返り記述】
	○地域への発信に向けて準備を行う。 ○地域へ発信する。(Zegonの方や町民の方に成果発表)			
3	○活動の振り返りを行う。	4		大崎上島の海の課題について気付くことができる。 【ワークシート】

9 本時の目標

○これまでの情報を，地域に発信するための方法を話し合うことができる。

10 本時の展開（本時51／70）

	学習活動	指導上の留意点(○)	評価規準【評価方法】
課題設定	<p>1 本時の学習課題を設定する。 (全体)</p> <p>○2月15日に行われる「すみれ祭り」でこれまでの学習を地域に発信することを伝え，本時の課題を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大串海岸では，ゴカイの卵を見つけることができた。 ・スナメリ調査は2回行ったけど，見つけることができなかった。でも，調査以外のところで実際にスナメリを見つけることができた。 ・大串海岸だけではなく，野賀海岸に調査に行くことができてよかった。 ・野賀海岸では，大串海岸と潮の流れが全然違って驚いた。 ・生き物は住んでいる環境によって大きさや種類がちがっていた。 ・野賀海岸で気になったゴミを臼島まで調査に行けて勉強になった。 ・きっと他の島にも人間が出したゴミが多く流れ着いているはずだから，なんとかしたいな。 	<p>○これまでの調査内容を確認させる。</p> <p>○今まで活動したことを，付箋に記入し活動内容を整理していく。</p> <p>○これまでの情報をより多く出させるために付箋に書く時間をしっかりと確保する。</p> <p>○今までの活動は，大崎上島の海の現状を自分たちが知る活動にはなっていたが，守る活動にまでは十分になっていなかったことに気付かせる。</p>	

	<p>本時の課題</p> <p>これまでの情報を，地域に発信するための方法を話し合おう。</p>		
情報収集	<p>2 伝えたい内容について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大崎上島に生息する生物について紹介したい。 ・スナメリが生息する海であることも知らせたい。 ・大崎上島の海でも場所によって環境が違うことを知らせたい。 ・今海のごみがどうなっているのか伝えていくべきだと思う。 ・豊かな海を守るためには，多くの人の協力が必要だね。 	<ul style="list-style-type: none"> ○活動内容を振り返らせると共に，自分たちが何をしていきたいのかひとりひとりが意見をもてるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○理由や根拠となる内容を，目的意識をもって考え発表する。【発言】
整理分析	<p>3 伝えたいことを，どのようにして伝えるのが最もよいか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞の書き方を国語で勉強したんだから，新聞にして配るのはどうかな。 ・新聞にすると少し大きくなるからリーフレットみたいな小さな物の方が，もらった人は読みやすいかも。 ・映像を作ってニュース番組みたいにしたらいいと思う。文字より伝わりやすいと思うから。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ワークシートを使い，自分の考えをまとめさせ，活動班で話し合いをさせる。 ○アイディアをグループでそれぞれ考えさせ，主体的に取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○他者と協働し，大崎上島の海のよさを伝えるため，よりよいアイディアを出し合うことができる。
表現	<p>4 自分たちが出したアイディアを整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○アイディアをホワイトボードにはり，自分のグループのアイディアを整理していく。 ○他のグループの発表に対して意見やさらに改善したら良い点を助言する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○グループで考えたアイディアの中から，伝えたい内容の候補を決める。 ○理由付けしながら発表させる。 ○振り返りをすることで，本時の学びを確かなものにする。 	<p>【発言・ワークシート】</p>
まとめ			
振り返り	<p>5 振り返り，次時の予告を確認する。</p>		

1 1 板書計画

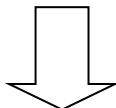
2月4日 「大崎上島の海のよさを伝えよう」

めあて

これまでの情報を，地域に発信するための方法を話し合おう。

すみれ
祭り

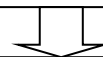
- ・地域への発信
- ・分かりやすものにしていく。(相手意識)



○自分たちのこれまでの調査内容の整理

発信方法 理由

新聞
リーフレット
ニュース番組



結果

振り返り